

### 第3期がん対策推進計画骨子案策定に向けての意見書

今までの協議会での意見交換を踏まえ、まずスローガンを位置付ける。内容は「がんの克服を目指す」

次に全体目標を入れる。内容は解りやすい文言で

(例) 「正しい知識に基づくがん予防」、「世界最高水準のがん医療実現」、「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」

そしてそれぞれの重点的に取り組むべき分野を入れる。

#### ■ 正しい知識に基づく予防の充実

一次予防：タバコ対策

分煙ではなく禁煙  
タバコの存在をなくす

二次予防：利用者の特性に応じた柔軟な検診

日々変わっていくがん検診に関するエビデンスに柔軟に対応できるように

#### ■ 世界最高水準のがん医療の実現

- 1、ゲノム医療
- 2、手術、薬物療法、放射線療法、免疫療法  
正しい免疫療法推進のためにも更なる高精度バイオマーカーの研究開発推進
- 3、チーム医療の強化
- 4、支持療法の充実
- 5、がんの特性に応じた希少がん・難治性がん・小児がん対策の充実
- 6、国民が必要とするがん登録情報の提供
- 7、がんリハビリテーションの充実
- 8、病理診断の重要性に鑑み、人財育成、コンサルテーション、遠隔診断の充実、AIの研究開発推進等
- 9、医薬品・医療機器の早期開発・承認に向けた取り組み

#### ■ がんとの共生

- 1、診断時からの緩和ケアの質の向上  
医療者のコミュニケーション重視
- 2、相談支援、情報提供（正しい情報、正しくない情報の明確化）、  
地域の相談支援体制強化
- 3、地域社会（机上の地域連携ではなく、顔の見える地域合同がんセンターボードの実現や在宅療養支援等）で取り組む
- 4、就労を含めた社会的課題解決  
就労支援、支持療法提供、アピアランス、妊孕性、自殺対策等ユニバーサルな視点
- 5、ライフステージに応じた医療と切れ目のないフォローアップの実現  
小児・AYA世代は、急性期医療から切れ目なくフォローアップ体制につなげる  
高齢者は患者の尊厳を考慮したがん治療とは何かを再考する。また医療者が罪悪感を持たなくて済むような書き方が必要

横ぐし

- ✓ がん研究（患者参画として patient and public involvement(PPI)の視点を入れる
- ✓ 人財育成（医療従事者だけでなく、介護分野やピアサポーター等を含む）
- ✓ がん教育（学校教育、社会人教育）による患者の尊厳を尊重する社会の構築を目指す
  - ✓ 各地方公共団体（都道府県及び市区町村）との顔の見える連携と尊重